永福図書館　実習報告

杉並和泉学園第８学年・３名のレポートです。
１０月３１日（月）～１１月２日（水）に、図書館の仕事を体験しました。

実習で取り組んだ仕事

●排架　●書架整理
●交換便（他の館から届いた本）の仕分け、中身チェック
●予約確保作業（予約がついた資料を書架から持ってくる）
●雑誌の装備　●リサイクル本作業　●オススメ本の紹介

図書館で働いてみた感想

★最初は軽い気持ちで選んだ図書館ですが、こんなに大変な仕事とは驚きました。本を運ぶだけではなく、その前もその後も色々やらなくてはいけないことがあり、三日間でかなり疲れましたが、その分やりがいはとても大きかったです。
排架、中身チェック、交換便の仕分けなどをしている時は「いま働いている」と実感することが多く、気持ちが良いものでした。また、自分は仕事や働くことを分かった気でいましたが、この体験を通して、大変さ、難しさ、やりがい、楽しさなどを体験できたと思います。この体験を将来どのようにして生かしていくかをこの先、考えていきたいと思います。

★私は、この職場体験を一言でいうと、すごく楽しかったです。最初のころは、立ち仕事だとか肉体労働だとか聞いていたので、体力的な面での不安がありました。それに加え、こんな人見知りなのに大丈夫かという心配も。
ですが、様々な作業のやり方を１から優しく教えてくださり、親しみやすさもあって、自然とコミュニケーションの心配はなくなっていきました。
立ち仕事が多く、足も痛かったですが、それよりも楽しさとやりがいで満ちていて、痛みはあまり気になりませんでした。好きなことに関連する仕事は、やりがいに加え、楽しさも生まれてくるんだと、あらためて思いました。

★３日間の職場体験を通してまず思うことが、図書館の方々はすごいということです。そう感じた理由としては、排架をする際やお客さんを案内する際などにそれぞれの本の配置場所や並べ方を把握していたからです。
理由はもう１つあり、お客さんへの配慮の数々です。
お客さんが本を取りやすいように本棚はつめすぎないようにしていたり、お客さんが本を探しやすいように整理していたりすることです。
自分は今まで図書館へ出向いても、何気なく本を探し、借りていました。
その「何気なく」があったのには、このような作業をおこなっていた方々がいたからなのだと今さらながら知ることができました。
そして、この３日間の中で、自ら率先して仕事をおこなうということが社会を生きるうえで大切なことだと改めて感じました。